

第13次鉱業労働災害防止計画の目標達成状況について

(1) 計画の目標

第十三次鉱業労働災害防止計画（平成三十年三月三十日 経済産業省告示第五十六号）（抜粋）

II 計画の目標

各鉱山においては、災害を撲滅させることを目指す。

全鉱山における災害の発生状況として、計画期間の五年間で、次の指標を達成することを目標とする。

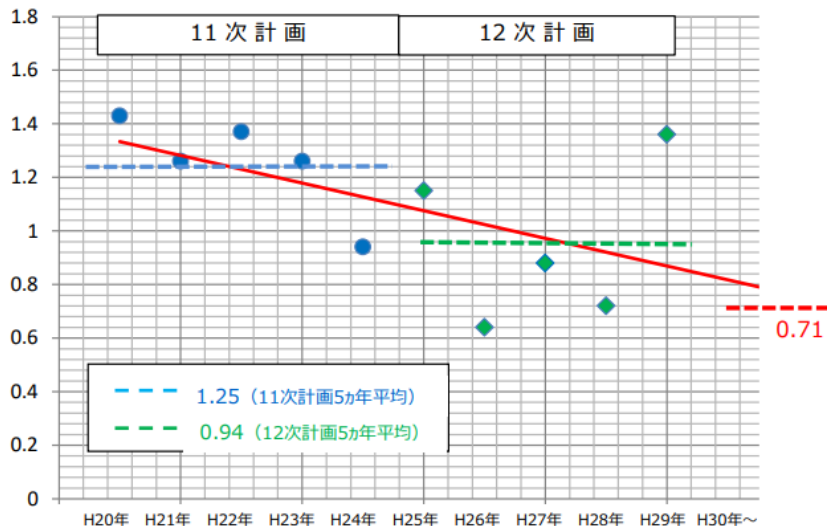
指標一：毎年の死亡災害は零とする

指標二：災害を減少させる観点から、計画期間の五年間の平均で、度数率0.70以下

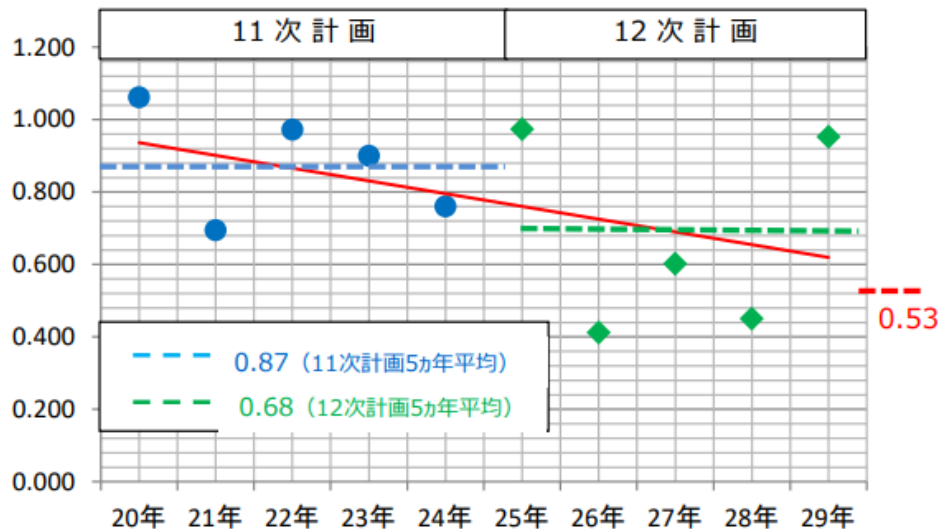
指標三：重篤な災害を減少させる観点から、計画期間の五年間の平均で、重篤災害（死亡災害を除く休業日数が二週間以上の災害）の度数率0.50以下

○中央鉱山保安協議会（平成30年2月1日）資料1-5（抜粋）

過去10年の鉱山災害における度数率の推移



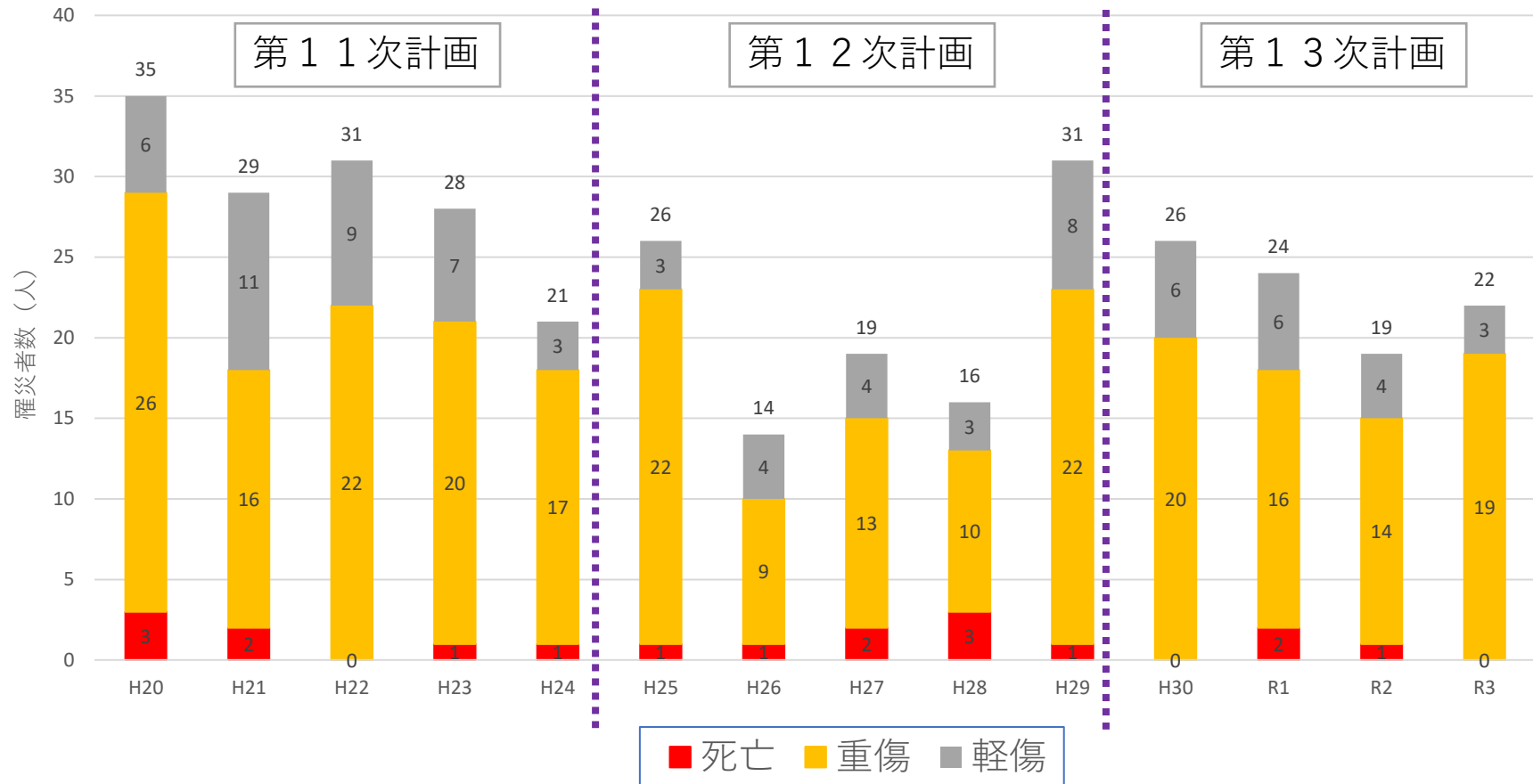
過去10年の鉱山における重篤災害の度数率の推移



第13次鉱業労働災害防止計画の目標達成状況について

(2) 罹災者の状況

罹災者数の推移

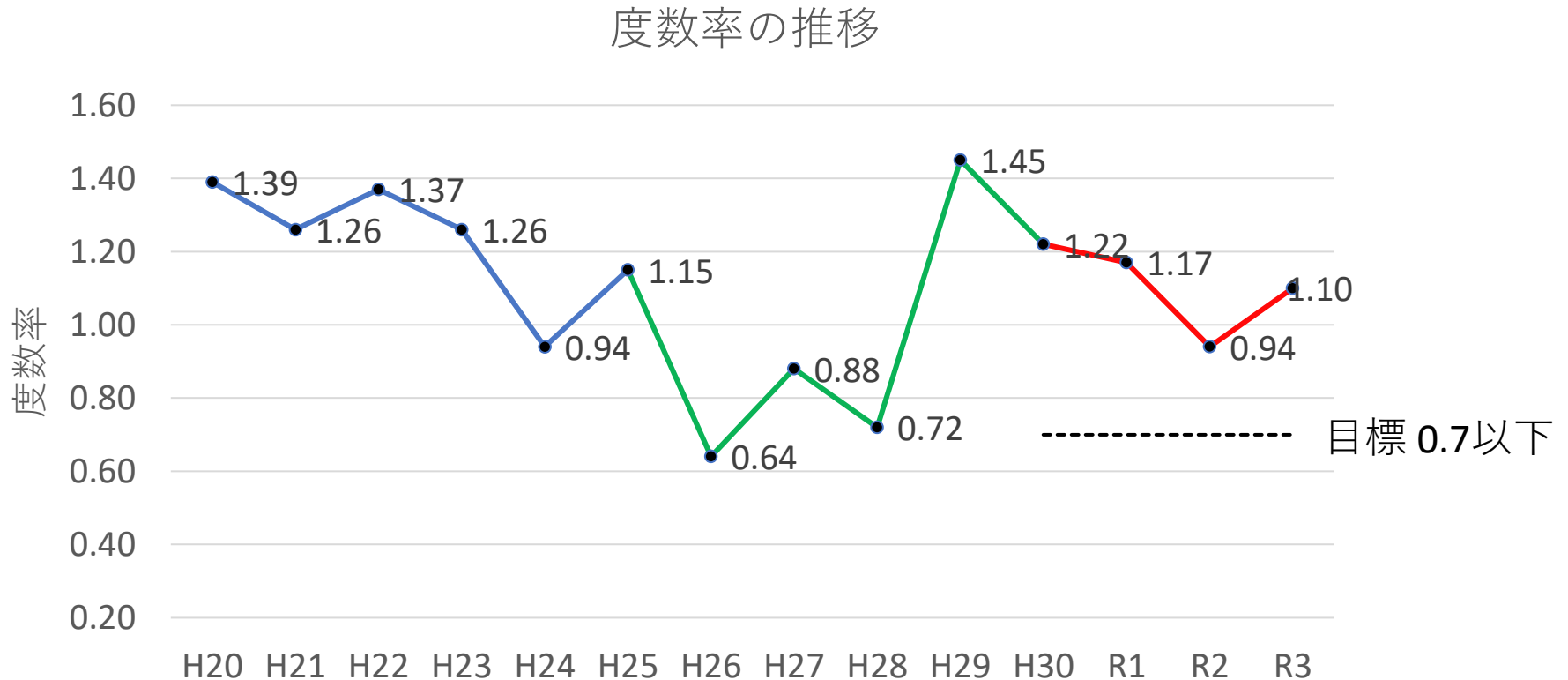


✓ 第13次計画期間において、平成30年・令和3年は死亡災害0（ゼロ）を達成したが、令和元年及び令和2年に死亡災害発生。

第13次鉱業労働災害防止計画の目標達成状況について

(3) 度数率の状況

度数率：稼働延べ100万時間当たりの罹災者数



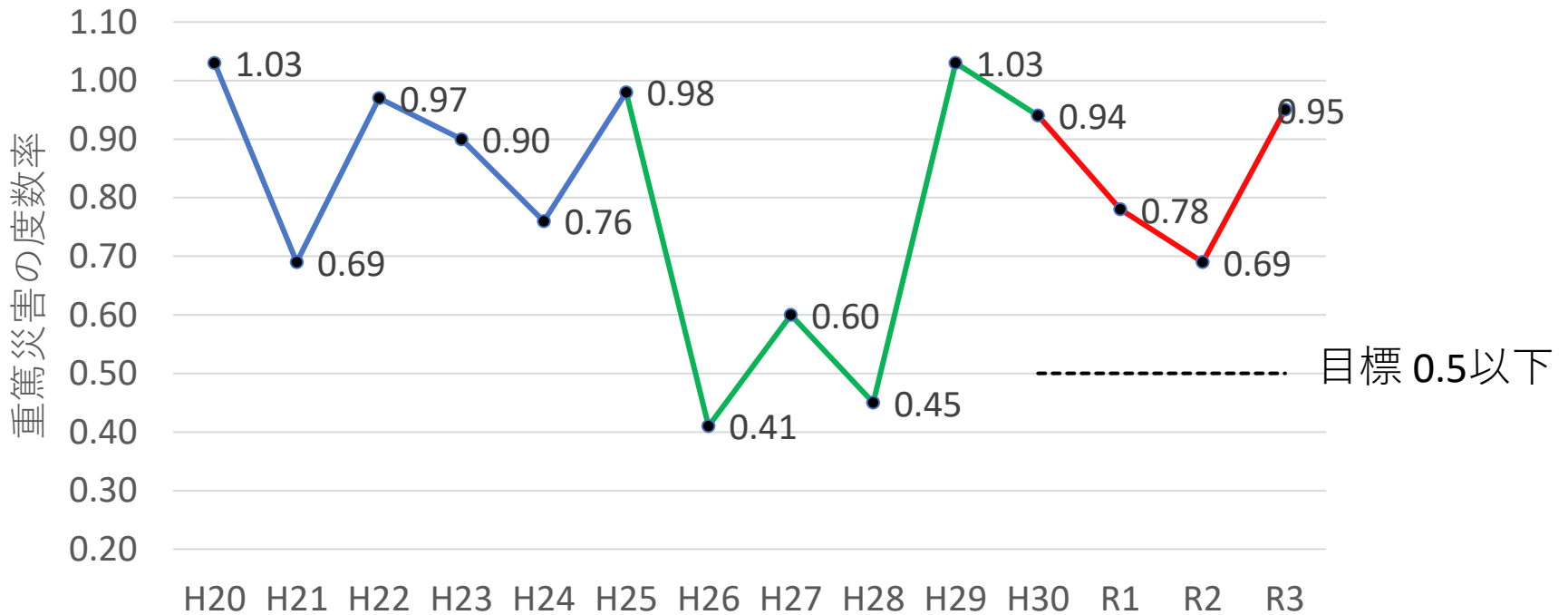
✓ 第13次計画期間5年間の平均で度数率0.7を目標にしているが、単年においても目標未達成。

第13次鉱業労働災害防止計画の目標達成状況について

(4) 重篤災害の度数率の状況

重篤災害の度数率：稼働延べ100万時間当たりの罹災者数（死亡者を除く休業2週間以上の災害）

重篤災害の度数率の推移



✓ 第13次計画期間5年間の平均で重篤災害の度数率0.5を目標にしているが、単年においても目標未達成。